

[科目名] 宗教哲学				[単位数] 2単位	[科目区分] 教養科目(第1群)		
[担当者] 木鎌耕一郎		[オフィス・アワー] 時間:授業時間前後 場所:教室			[授業の方法] 講義		
[科目の概要] 本講義は、宗教学が扱う基礎的な諸概念を理解した上で、日本の宗教・宗教観や宗教と文芸についても触れつつ、最後に西洋の宗教思想、なかでもユダヤ教とキリスト教の宗教思想における主要な諸問題を扱います。ユダヤ教・キリスト教に関する知識は、皆さんが専門的に学修する社会科学の分野においても有用な場合が多いと思います。キリスト教はユダヤ教の宗教的伝統の中から成立し、ギリシャ哲学、ヘレニズム思想の影響を受けてヨーロッパを舞台に展開し、哲学思想のみならず文化、芸術、社会制度に至るまで様々な影響を遺しています。本講義では、宗教思想の諸問題を、それらが生起した具体的な時代状況や社会的文脈を解説しながら考えていきます。							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 国際社会や地域社会で、多様な立場や価値観に基づく対立や分断が見られる中で、異なる価値観を持つ者が存在することを知り、自らがその直中に共に生きていることを知り、互いに尊重し、自然界における人間の分際を弁えることは、極めて重要な現代的要請です。そのような姿勢は、大学での学びを経て、社会の様々な場面で活躍する「教養人」として期待される資質のひとつでもあります。							
[科目の到達目標] ・宗教学が扱う基礎的な諸概念を理解し、説明できる。 ・日本の宗教、日本人の宗教観の概要を理解し、説明できる。 ・ユダヤ教とキリスト教の宗教思想の基礎知識を身につけ、基本的な概念について説明できる。							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○	○	○				
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 昨年度の授業評価はどの項目も概ね良い評価となりほっとしている。スライドの変換が早いという意見があったため気をつけたい。							
[教科書]なし							
[指定図書]なし							
[参考書] ・石井研士『プレステップ宗教学』弘文堂 ・加藤隆『一神教の誕生：ユダヤ教からキリスト教へ』講談社現代新書 ・北森嘉蔵『聖書と西洋精神史』教文館 ・市川裕『ユダヤ教の歴史』山川出版社 ・竹下節子『知の教科書 キリスト教』講談社							
[前提科目]なし							

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>講義期間中に複数回課すテストの点数を総計して評価します。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習として、シラバスを参考に、用語の意味等を調べておくとう理解度が深まるでしょう。 ・受講環境を保持するために、退室を願うことがあります。 ・質問は授業中であっても歓迎します。 	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 宗教の起源</p> <p>内 容: 考古学的成果に見る宗教の萌芽、19 世紀の宗教研究、アニミズム</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 神話</p> <p>内 容: 神話の源流、創世神話の類型、世界創世神話の事例、神話批判</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):: 儀礼</p> <p>内 容: 宗教儀礼と年中行事、消極的儀礼と積極的儀礼、通過儀礼(イニシエーション)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本人の宗教観</p> <p>内 容: 宗教統計調査、宗教意識の国際比較</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本の宗教概観</p> <p>内 容: 神道の二面性、仏教の伝来、神仏習合</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 国教制度と政教分離</p> <p>内 容: 西洋の国教制度史、宗教改革と国教制度、近代革命と政教分離</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 諸宗教の礼拝形式</p> <p>内 容: 祈りの表現、神道、仏教、イスラム教(六信五行)、ユダヤ・キリスト教の時間感覚、祝祭日</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 西洋文学とキリスト教</p> <p>内 容: ダンテ、神曲、煉獄、キリスト教の死生観</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本文学にみるキリスト教の受容</p> <p>内 容: 開国後の日本宣教、キリスト教と出会った文学者、芥川龍之介、遠藤周作、他</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 聖書の成立史・翻訳史</p> <p>内 容: 聖書の言語・構造、近代語への翻訳、日本語聖書</p> <p>教科書・指定図書</p>

第 11 回	<p>テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教の正典(ヘブライ語聖書)の構造と思想</p> <p>内容: ユダヤ教成立史、契約、天地創造、アダムとエバ、ノアの方舟</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 12 回	<p>テーマ(何を学ぶか): キリスト教の正典(旧約聖書・新約聖書)の構造と思想</p> <p>内 容: キリスト教成立史、善きサマリア人のたとえ話、原罪</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 13 回	<p>テーマ(何を学ぶか): ユダヤ・キリスト教思想と東洋的人間観・自然観の比較</p> <p>内 容: キケロの人間観、聖書の人間観と自然観、日本人の自然観、罪の文化と恥の文化</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教とキリスト教の関係史</p> <p>内 容: ディアスポラ、置換主義神学、反ユダヤ主義、反セム主義、ハスカラ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教とキリスト教の宗教間対話</p> <p>内 容: 宗教間対話、第二バチカン公会議、教皇庁文書の検討</p> <p>教科書・指定図書</p>